

特42

459

蟻通

5

東 京 圖 書 館

一 一 〇 冊	ノ 七 一 號	四 七 架	カ 函	音 樂 類	和 書 門
------------------	------------------	-------------	--------	-------------	-------------

蟻通



第

和

歌の道

の道

律のよきもの 律のよきもの 是に紀貫之

まての和歌の道よきもの

をたれ来復古の律のよきもの

のよきもの のよきもの 思の立記の路の

道のよきもの 道のよきもの 様をたれ

於此開戸乃望多之都の光月
影をちりきとちる方も雲科
跡に隔るる言わさるる女
き里ちるまの鐘の色く月 甚

止る俄に日暮又雨ふりてさるる業
たる駒はくして前なる年と公
うは昔燈暗りてき散行り如源

たるるをいひてゆく
とくま便りもあはれ
清湘の境の雨ふるる
寺の鐘の音もあはれ
宮寺の深奥の鐘の音は
あはれなれど
社頭中の燈もあはれ

古事記に云くは
 天孫降臨の御
 事也。是の御事
 也。是の御事也。
 是の御事也。是
 の御事也。是の
 御事也。是の御
 事也。是の御事
 也。是の御事也。

今も昔も
 是の御事也。是
 の御事也。是の
 御事也。是の御
 事也。是の御事
 也。是の御事也。

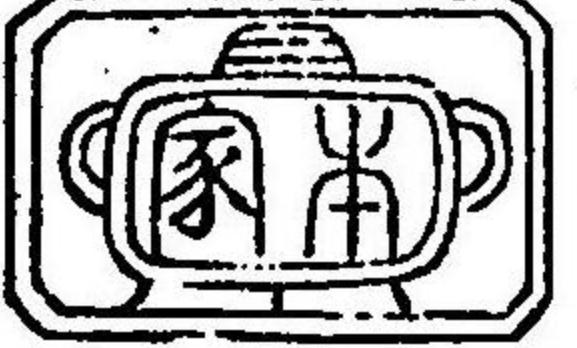
此を...
 一、上...
 二、鳥...
 三、...
 四、...
 五、...
 六、...
 七、...
 八、...
 九、...
 十、...
 十一、...
 十二、...
 十三、...
 十四、...
 十五、...
 十六、...
 十七、...
 十八、...
 十九、...
 二十、...
 二十一、...
 二十二、...
 二十三、...
 二十四、...
 二十五、...
 二十六、...
 二十七、...
 二十八、...
 二十九、...
 三十、...
 三十一、...
 三十二、...
 三十三、...
 三十四、...
 三十五、...
 三十六、...
 三十七、...
 三十八、...
 三十九、...
 四十、...
 四十一、...
 四十二、...
 四十三、...
 四十四、...
 四十五、...
 四十六、...
 四十七、...
 四十八、...
 四十九、...
 五十、...
 五十一、...
 五十二、...
 五十三、...
 五十四、...
 五十五、...
 五十六、...
 五十七、...
 五十八、...
 五十九、...
 六十、...
 六十一、...
 六十二、...
 六十三、...
 六十四、...
 六十五、...
 六十六、...
 六十七、...
 六十八、...
 六十九、...
 七十、...
 七十一、...
 七十二、...
 七十三、...
 七十四、...
 七十五、...
 七十六、...
 七十七、...
 七十八、...
 七十九、...
 八十、...
 八十一、...
 八十二、...
 八十三、...
 八十四、...
 八十五、...
 八十六、...
 八十七、...
 八十八、...
 八十九、...
 九十、...
 九十一、...
 九十二、...
 九十三、...
 九十四、...
 九十五、...
 九十六、...
 九十七、...
 九十八、...
 九十九、...
 一百、...

右之本者觀世太夫織部
章句真本令放行畢

正徳六丙申歲弥生
天保十一庚子歲孟春改正再板

皇都二条通御幸町西江入町

山本長兵衛



明治十七年三月六日翻刻御届
同年四月十二日別製本御届

定價四錢

翻刻人

京都府平民

寺田熊次郎



下京區第五組麩屋町
錦小路上梅屋町十三番戶

